

食から日本を考える。
**NIPPON
FOOD
SHIFT**

日本人の「食」に対する意識向上と、それをサポートする国民的な活動を展開を目指す農水省では、「ニッポンフードシフト事業」を開発を受け、当社中井英策商店は、そのサポート企業に登録を受け、その事業の一環である全国表彰イベント「食と農をつなぐアワード」への審査エントリーを行った。

当社がサポート企業認可登録

**食のアワード審査
今月結果発表へ**

この事業は、日本国民の、食の安心安全を守るために、食料自給率の向上や、それに不可欠なるべき農業の姿などを国民全体でその議論などを盛り上げて行こうという目的で農水省が旗揚げしたもの。

これに当社も賛同、早速この活動をサポートする企業として、「推進パートナー」として登録申請、認可を受けたほか、当社の活動に対する評価を審査してもらうため、全国表彰制度「食と農をつなぐアワード」へのエントリーを行ったもので、9月19日の審査を経て、十一月上旬にその審査発表を兼ねた表彰式が行われる予定となっている。



当社工場内のキンキいづし製造風景



キンキいづし500g(左)と140g(右)

今年もまた、この季節がやって来ました！
冬到来を告げる季節になると、いよいよ待ちに待つ「いづし」の季節がやって來た。

当社、中井英策商店でも年末年始の最需要期を迎え、製造も急ピッチ、工場内ではスタッフの活気ある掛け声が飛び交うほどの熱気に満ちた製造が進んでいる。

今年の当社は、看板商品の「キンキいづし」を中心、人気の「紅鮭」

も年末年始の最需要期を目前に、製造も急ピッチ、工場内ではスタッフの活気ある掛け声が飛び交うほどの熱気に満ちた製造が進んでいる。

今年は、原材料、とりわけ米の暴騰や、経費の大増などで当社の販売価格も値上げせざるを得ない状況となるなど、厳しい経営環境は続いているものの、美味しさは今年も変わらない。「自信を持ってお勧めしたい」と当社中井

食から日本の未来を考えよう 農水省の食プロジェクトに当社も協賛

中井英策商店とお客様を結ぶコミュニケーション新聞
キンキ新聞

米高騰に原料不足さらに・・・

**困難に負けず
今年もいづし造り
最盛期に**

**キンキ主に3万樽製造へ
今年も相次ぐTV取材**

看板の



伊藤さんの笑顔頂きました

きんき新聞
第57号
編集・発行元
株式会社中井英策商店
北海道伊達市南新町18-12

『突撃訪問』頂きました

弊社の会社にお勤めで、釣りが趣味のお客様、伊藤義幸さんが、当社を訪ねて下さいました。

「釣りをしに寿都まで行ってきた帰りなんですよ・・・、折角だから帰りに寄り道して及川社長に会いたくて寄ってみました」と仰って頂き、当社をご訪問頂きました伊藤さん、「中井さんの数ある飯寿司の中でも、キンキいづしの柚子味が美味しいで購入して帰ります」とご購入も頂き、帰り際に「是非またお会いしましょう！」と再会をお約束し、伊藤さんとのツーショット写真を撮らせて頂きました。

濃厚旨味で売行き好調 キンキいばし厚切り試販

伊達道の駅でテスト販売



ゴロっと「厚切り」のきんきのいばしの試作とテスト販売がこの夏から、当社地元の北海道伊達市内の道の駅で観光物産館限定で始まり、好評を得ている。

これは、当社中井英策商店の看板商品「キンキいばし」の新たなラインナップとして企画している「厚切り」タイプで、文字通りキンキの身を分厚く切ついていばしに漬け込んでいる新タイプで、ゴロつと厚い身のいばしが、食べ応えのあるタイプとなっているもので、本格発売を前にテスト販売を開始したもの。購入者からは、「分厚くて食べ応えがある」といった高評価を頂いているもので、来年に向けて本格製造を検討している。

このサインは、面白おかしく一般消費者がいばしの存在を再認識するきっかけとなるように願つて設計されたもので、「ひとりでも多くの方に見て頂き、いばしの存在を知つて欲しい」(及川代表)と期待を寄せる。



北国が誇る伝統的な発酵食品「いばし食文化」を守り、次世代へ継承させたいという

願いから、当社中井英策商店が今から7年前に任意で設立した「いばし食文化をつなぐ会」が今から7年前に任意で設立

会」の公式ウェブサイトが、このほど正式に発足、ネット上で公開が始まった。

このサイトは、当社中井英策商店が運営母体となり、いばしの歴史や現状などを紹介しながら、いばしの情報発信ツールとして新たに開設したもので、面白おかしく一般消費者がいばしの存在を再認識するきっかけとなるように願つて設計されたもので、「ひとりでも多くの方に見て頂き、いばしの存在を知つて欲しい」(及川代表)と期待を寄せる。

公式新専門サイト開設

いばし食文化を次世代へ発信

また、当社の及川代表は、このほど札幌の歓楽街スキノの人気施設として定着しているココのススキノ内で公開されているFMラジオスタジオで発信しているネット番組に出演、若者に人気のDJが進行する番組に出演し、いばしの食文化の発信を開始した。

及川代表は「若者世代から敬遠され、忘れ去られる存在になりつつあるいばしの文化を若い世代に伝えるきっかけになれば……」と期待しているもので、今後もあらゆるメディアを活用して飯寿司情報の発信を積極的に行っていく方針だ。

北海道を代表する発酵食品「いばし」の情報を発信
いばし食文化をつなぐ会(新)公式ウェブサイト
<https://izushi-hokkaido.com/>



北海道産ゆめびりか使用アピール キンキいばしに貼付

当社、中井英策商店はこの秋から、当社のいばしに使われて

いる米の品種を明確にアピールしよう」と、「北海道産米ゆめびりかを使用しています」と謳った特製シールを、当社のキンキいばしなどのパッケージに張り付けて販売を開始した。

これは、令和の米騒動とも称され、価格高騰が社会問題化している「米」を文字通り、大量に使用するいばしだが、当社の場合は全てのいばしの主原料として、北海道産米ゆめびりかの新米を使用していることで、同業他社との差別化を図ろうと打ち出したものの、今年も北海道空知産のゆめびりかを生産者が直接買い入れ、いばしの仕込みに使用している。

当社では「価格は高いが、それだけ美味しいお米を使っていいので、美味しいいばしが出来上がっている」(及川代表)と得意先などにアピールする方針だ。

ふるさと小包歳暮開始

当社キンキいばし

郵便局の熱烈オファーに初対応

郵便局の窓口などにあるカウンターに置いてあるカタログ販売で知られる、郵便局の「ふるさと小包」年末お歳暮ギフトカタログに当社の看板商品「キンキいばし」が今年年末限定で初めて発売される。これまでに公演、若者に人気のDJが進行する番組に出演し、いばしの食文化の発信を開始した。これは、北海道内の「ふるさと小包」を担当する郵便物販サービス㈱の担当者が、当社を何度も訪れ「年末のいばしは中井さんのキンキいばしは欠かせない。お取引願えないか?」と熱烈オファーを去年から受けたことに対応する形で今年初め、販売を開始したもの。今年は当面、北海道限定で、さうに数量も制限した形での販売となるが、郵便局を利用する消費者へのアピールとなる期待を寄せている。

置いてあるカタログ販売で知られる、

郵便局の「ふるさと小包」年末お歳暮ギフトカタログに当社の看板商品「キンキいばし」が今年年末限定で初めて発売される。これまでに公演、若者に人気のDJが進行する番組に出演し、いばしの食文化の発信を開始した。これは、北海道内の「ふるさと小包」を担当する郵便物販サービス㈱の担当者が、当社を何度も訪れ「年末のいばしは中井さんのキンキいばしは欠かせない。お取引願えないか?」と熱烈オファーを去年から受けたことに対応する形で今年初め、販売を開始したもの。今年は当面、北海道限定で、さうに数量も制限した形での販売となるが、郵便局を利用する消費者へのアピールとなる期待を寄せている。



私の一冊

北海道企業はなぜ強いのか(浜中淳著)

それほどまで、北海道から元気な企業が次々と生まれている特異性はどうやっていな
のか?著者は北海道という恵まれていない
地域だからこそ、似鳥氏のようなスケー
ルの大きなカリスマ経営者が生まれたと結
ぶ。同じ北海道生まれの当社として、明日
の希望を抱きながら一気に読んだ。

社長の及川昌弘が、直近で読んだお勧めの本を紹介する「私の一冊」コーナーの今回
は、当社の元北海道生まれの元気な会社
として今や全国区になつた、ニトリ、ツ
ルハ、DCMなどの発展の経緯をまとめた
「奇跡の小売王国・北海道企業はなぜ強い
のか」(浜中淳著、講談社)を紹介したい。
この本の著者、浜中氏は現役の北海道新
聞記者として、取材を通じて実感した、北
海道で元気な企業の代表格となつたニトリ

鉄道と本が大好きな私 中井英策商店
社長の及川昌弘が、直近で読んだお勧めの
本を紹介する「私の一冊」コーナーの今回
は、当社の元北海道生まれの元気な会社
として今や全国区になつた、ニトリ、ツ
ルハ、DCMなどの発展の経緯をまとめた
「奇跡の小売王国・北海道企業はなぜ強い
のか」(浜中淳著、講談社)を紹介したい。
この本の著者、浜中氏は現役の北海道新
聞記者として、取材を通じて実感した、北
海道で元気な企業の代表格となつたニトリ

やツルハ、セコマなどの小売業の強さを分
析、まとめたもので、そのタイトルどおり、
これら今や全国企業となつた北海道発企業
の強みはどうから生まれたのか?を鋭く分
析している。

昆布ぐい呑み人気再燃

ナニコレ珍百景TV放送がきっかけに



当社昆布のぐい呑み

この春には、テレビ朝日系「なんでも珍百景」のテレビ番組で紹介されたほか、商談会でも引き合いが急増するなど、時を経て再び人気が再燃している。ただ、手作り商品のため量産化は難しく、お得意先を絞った販売で対応しているのが現状だ。



頂いている中井商店さんに一度伺つてみたかったです。当社が取引している米国のレストランエフは、実際に使つていて調味料や素材がどのように作られてるのか?という造り手の思いやストーリーを知りたがるんです」と力説する。

ワイスアンドパートナーズ社さんは、青森県出身の結城社長が東京で起業、普段は米国、

米国ミシュランシェフも絶賛

LA輸出商社ワイス社結城社長来社



米国でも大人気の「きんきの露」

鋭い質問の嵐が飛び交つたが、とても楽しい幸せな時間を過ごすことが出来、とても意義のある一日でした。



今年も値上げせざるを得ない状況になりました。
何卒、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。

日頃大変お世話になり、有難うございます。

只今、今年のお歳暮、年末年始商戦が始まろうとしておりますが、大変残念ながら、
今年は主原料であります「米」価格の暴騰のほか、人件費や物流費の高騰などで、
いすしの価格を大きく値上げせざるを得ない状況に追い込まれてしまいました。

どうか、皆様にはご理解、ご協力を伏してお願い申し上げます。

(株)中井英策商店 代表取締役 及川昌弘



当社のお得な最新情報など
発信するサイトのお友達登録を宜しくお願ひします